

## 「卒業おめでとう」

令和8年3月2日(月)

平塚工科高等学校長 塩浦 健吾

平塚工科高等学校総合技術科、「自動車系」「機械系」「電気系」「環境化学系」「総合技術系」の170名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、ご家族の皆さま、本日は誠におめでとうございます。皆さまには、いつも温かいご支援、ご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。この3年の間には、大変なご心配やご苦勞もあったかと思いますが、こうして高校卒業を迎えたお子様に感慨もひとしおのことと存じます。心からお祝い申し上げます。

そして、本日、この晴れの卒業式に、「保護者会 しおかぜサポーターズ会長勝山 匡様」にご臨席を賜り、高いところからではございますが、厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

本校は、昭和14年(1939年)に神奈川県立第二工業学校として開校し、幾多の変遷を経て、創立86年となりました。平塚工科高校は、平成15年(2003年)に平塚工業高校と平塚西工業技術高校の再編統合により設置され、総合技術科の高校として23年が経ちました。

平成から令和へと時代が移り変わる中、「科学技術の進展を担う、幅広い教養・技能・技術を持った自立心とチャレンジ精神に富んだ、神奈川の産業を担う創造性豊かな人物を育成する」ことを教育目標としています。

振り返れば昨年4月、初めてこの壇上で皆さんを前に着任の挨拶をしました。私は皆さんに、本校には「誠実」「健康」「創造」という素晴らしい校訓がある。高校生活でその校訓を胸に、今後の学校生活が実りあるものになることを期待しているという話をさせてもらいました。そこから1年間、学習や学校行事、生徒会活動、部活動に取り組み、クラスメートや仲間たちとの友情を育み、貴重な青春時代を送ってきたことと思います。

卒業生の皆さんが手にする卒業証書は、皆さんの努力の賜物であることはもちろんですが、そこには多くの方々が、皆さんに託した希望や夢が込められています。

皆さんは本日、めでたく卒業の日を迎え、次のステージへと歩を進めていきます。就職して社会人となり、経済的にも精神的にも自立する人、大学や専門学校へ進学し、より専門的な勉強をする人、その道は様々です。皆さんは、これからもいろいろな課題に直面するはずです。困難に遭遇した時、誠実な心で現実から逃避することなくその壁に立ち向かうためには、常にいろいろなものを学んでおく必要があります。どうか立ち止まることなく、日々物事を学び続ける人になってください。そして、目まぐるしく変化する社会状況のなかでも、自分を見失うことなく、自分と同じように相手を尊重し、共に生きていこうとする姿勢を大切にしてほしいと願っています。

人は一人では生きていけません。様々な人間関係の中で生きています。困難にぶつかった時、人との出会いや、触れ合いで解決することも多くあります。人への思いやりは、他の人

を幸せにするだけでなく、自らも幸せにします。皆さんには、かけがえのない仲間といつも皆さんのことを気にかけて、幸せを願っている人がいることを忘れないでください。

これからの道は、それぞれ異なるかもしれませんが、自分らしく歩むことができれば、必ず望む未来を切り拓くことができると信じています。本校で培った精神や技術を、社会の中で存分に発揮し、活躍してくれることを願っています。

また本校は、卒業生の皆さんがいつでも帰ってこられる場所です。成長した姿や新たな活躍を聞けることは、私たちにとって何よりの喜びです。ぜひこれからも、自分の夢を追い続けつつ、周囲への感謝を忘れず、平塚工科高等学校の卒業生として誇りを持ち続けてください。

皆さんの未来が、希望と喜びに満ち溢れたものとなることを心から願っています。そして、平塚工科高等学校での学びが、その支えとなることを祈っています。

最後になりましたが、170名の新しい卒業生の限りない発展を心からお祈りするとともに、皆さんの前途に幸多からんことを祈念し、お祝いのことばといたします。

本日は誠におめでとうございます。